

第7節 スポーツ指導センター

1 設 置

「体育・スポーツに関わる職員等の研修及び専門的・技術的事項の研究並びに県体育館等の機能と併せ、体育・スポーツ指導の一元化・強化を図る」ことを目的として、昭和58年4月1日宮崎県教育庁スポーツ指導センターが設置された。

平成13年4月1日、機構改革により土木部（現県土整備部）から、総合運動公園有料公園施設に関する管理・運営が教育委員会に委任された。

平成18年4月1日、総合運動公園有料公園施設のうち、県教育委員会所管の4つの施設（武道館、硬式野球場、第2硬式野球場、屋内運動場）が土木部に所管換えになるとともに、総合運動公園有料公園施設及び県体育館・ライフル射撃競技場の管理運営業務が指定管理者へ移行した。

2 業 務

- (1) 体育及びスポーツに関する専門的、技術的事項の調査及び研究
- (2) 体育及びスポーツの普及及び振興のため必要な事業
- (3) 体育及びスポーツ関係職員の研修
- (4) 体育及びスポーツに関する資料の収集、整理及び活用
- (5) 体育館、新体育館、ライフル射撃競技場及び総合運動公園の利用者の体育及びスポーツの指導
- (6) 体育館、新体育館、ライフル射撃競技場及び総合運動公園有料公園施設の管理

3 令和5年度 事業実績

(1) スポーツ指導センター事業

① 体育・保健体育指導に関する研修

No.	講座名	期 日	会 場	対 象	人数	内 容	講 師
1	幼児児童の楽しい水遊び	5月11日(木)	[南部] スミングフィットネスフィットピア	幼稚園等の運動指導、体育・保健体育指導に関わる教員等	6	講義 「水難事故の現状とその対応」 実技 「楽しい水遊び(水に慣れる遊び、浮く、潜る遊び)」	スミングクラブ インストラクター
		5月16日(火)	[北部] フィットネスクラブターザン		10		
		5月23日(火)	[中部] ABCスポーツクラブ		29		
2	幼児児童の楽しい運動遊び	8月22日(火)	[南部] 早水公園体育文化センター	幼稚園等の運動指導、体育・保健体育指導に関わる教員等	15	講義・実技 「運動大好きっ子を育もう!」	澤井雅志 氏 (日本体育大学兼任講師)
		8月23日(水)	[北部] 新宮崎県体育館		23		
		8月24日(木)	[中部] ひなた武道館		26		
3	小学校体育指導者養成講習会	6月23日(金)	ひなた武道館	体育・保健体育指導に関わる教員等	14	講義 「学習指導要領を踏まえた体育授業の考え方」 講義、協議、実技「器械運動系」	永野 佳太 教諭 (延岡市立南小学校)
4	小学校体育地区別講習会 (器械運動系)	7月25日(火)	宮崎市立生目台東小学校	体育・保健体育指導に関わる教員等	20	講義 「学習指導要領を踏まえた体育授業の考え方」 講義、協議、実技 「器械運動系」	田中 佑樹 教諭(西池小) 恵利 のぞみ 教諭(倉岡小)
		7月26日(水)	西都市立妻北小学校		16		池内 俊介 教諭(多賀小) 押川 彩香 教諭(新田小)
		7月26日(水)	小林市立小林小学校		11		高崎 雅士 教諭(須木小) 樋渡 美咲 教諭(飯野小)
		7月28日(金)	日南市立吾田小学校		23		川原 裕一朗 教諭(北万小) 村本 知香 教諭(大東小)
		7月28日(金)	都城市立明和小学校		37		宮田 翔馬 教諭(明和小) 森永 亜由美 教諭(梅北小)
		7月28日(金)	日向市立日知屋東小学校		18		堀 俊太郎 教諭(門川小) 本田 妃佐喜 教諭(財光寺南小)
		8月 4日(金)	延岡市立東小学校		20		鈴木 純哉 教諭(東小) 林田 恭子 教諭(宮水小)
5	中学校・高等学校保健体育地区別講習会 (陸上競技)	7月 6日(木)	延岡市民体育館	体育・保健体育指導に関わる教員等	7	講義「学習指導要領を踏まえた保健体育授業の考え方」 講義、協議、実技「陸上競技」	山中 貴弘 教諭 (延岡商業高等学校)
		7月 7日(金)	ひなた武道館		7		
6	小学校体育セミナー (水泳運動系)	6月8日(木)	ひなた武道館 ひなた宮崎県総合運動公園 屋内プール	体育・保健体育指導に関わる教員等	29	講義「学習指導要領を踏まえた体育授業の在り方」 講義、協議、実技「水泳運動系」	瀬戸山 剛介 教諭 (都城市立西小学校)
	小学校体育セミナー (タグラグビー・フライングフットボール)	9月26日(火)	早水公園体育文化センター	体育・保健体育指導に関わる教員等	15	講義「学校全体で取り組む体力向上マネジメントの在り方」 講義、協議、実技「タグラグビー・フライングフットボール」	川崎 直人 教諭 (宮崎市立生目台東小学校)
	幼児・小学校体育セミナー (幼児児童の運動遊び)	10月31日(火)	ひなた武道館	幼稚園等の運動指導、体育・保健体育指導に関わる教員等	38	講義「幼児期運動指針及び幼稚園教育要領を踏まえた運動遊び指導の考え方」 講義・実技・演習「幼児児童の運動遊び」	園田 圭史 教諭 (都城市立菓子野小学校)
	小学校体育セミナー (ボール運動系)	11月24日(金)	ひなた武道館	体育・保健体育指導に関わる教員等	9	講義「学習指導要領を踏まえた体育授業の在り方」 講義、協議、実技「ボール運動系」	図師 啓悟 教諭 (日南市立吾田小学校)
	中・高保健体育セミナー (保健・水泳)	6月16日(金)	ひなた宮崎県総合運動公園 合宿所・屋内プール	体育・保健体育指導に関わる教員等	18	講義「学習指導要領を踏まえた保健体育授業の在り方」 講義、協議、実技「保健、水泳」	河原 清美 教諭 (日向市立日向中学校) 池田 海嗣 教諭 (高千穂町立上野中学校)
	中・高保健体育セミナー (武道:柔道)	11月9日(木)	ひなた武道館	体育・保健体育指導に関わる教員等	13	講義「学習指導要領を踏まえた保健体育授業の考え方」 講義・実技・演習「武道:柔道」	今村 大介 教諭 (西都市立三納中学校)
7	表現運動系・ダンス指導者講習会	12月14日(木)	ひなた武道館	体育・保健体育指導に関わる教員等	22	講義・実技 「表現運動系・ダンス」	ダンスカンパニー んまつーポス
合計					426		
No.	講座名	期 日	会 場	対 象	人数	内 容	講 師

No.	講座名	期 日	会 場	対 象	人数	内 容	講 師
8	体育・保健体育指導力向上研修	5月10日(水) ～12日(金)	京都府京都市	小学校・中学校・高等学校の教員	9	幼児・小学校「運動遊び」 小学校「器械運動系、ボール運動系」 中学校・高等学校「陸上競技、水泳、柔道、保健」	スポーツ庁教科調査官 大学教授等
9	体力向上マネジメント指導者養成研修	11月20日(月) ～22日(水)	オンライン研修 (リアルタイム)	指導主事、教員等	2	講義・演習等	スポーツ庁教科調査官 大学教授等
合計					11		

② 運動部活動・スポーツ指導に関する研修

No.	講座名	期 日	会 場	対 象	人数	内 容	講 師
1	運動部活動外部指導者研修会	5月21日(日)	宮崎県教育研修センター ハイブリッド	運動部活動外部指導者	99	説明「運動部活動の指導にあたって」 講義「育成年代に必要なウォーミングアップとクールダウンの理念」	西田 英司 指導主事 (県教育庁スポーツ振興課) 竹井 友理恵 (株式会社DONOW 理学療法士)
2	運動部活動顧問研修会 ・ソフトテニス ・サッカー ・ハンドボール	11月30日(木)	ひなた宮崎県総合運動公園 テニスコート、木の花ドーム、 体育館、 ひなた武道館	運動部活動に関わる教員等	48	講義「効率的・効果的な運動部活動の運営について」 実技「ソフトテニス、サッカー、ハンドボール」	教諭 鹿島 鉄平(矩城中) 教諭 渡邊 彦継(高城高) 教諭 大久保高広(土々呂中) 教諭 木下 健生(妻高) 教諭 富山 未希(富島中) 教諭 宮島 隆二(小林秀峰高)
3	第1回 スポーツ指導者セミナー	6月29日(木)	ひなた武道館	運動部活動に携わる教員等、スポーツ指導者	58	講演 「スピードスケート金メダリストへのコーチングをふりかえり」 ～選手の力を最大限に引き出す～	結城 匡啓 教授 (信州大学学術研究院)
	第2回 スポーツ指導者セミナー	2月5日(火)			74	講演 「何を背景に選手指導を行っているか」	中垣 征一郎 巡回ヘッド コーチ オリックス・バファローズ
合計					279		

No.	講 座 名	期 日	会 場	対 象	人数	内 容
4	スポーツ指導者養成事業 事前研修会	6月29日(木)	ひなた武道館	所属、競技団体から推薦された指導者等	7	県外派遣事業 事前説明
ス ポ ー ツ 指 導 者 養 成 事 業 (県 外 派 遣 事 業)	氏名	所属	競技名	派遣先	派遣期間	
	宮田 優志	宮崎市立 大淀中学校	カヌー競技	日本体育大学	令和5年11月23日(木)～26日(日)	
	近藤 美里	日向市立 財光寺中学校	ソフトボール競技	学校法人神村学園 中部部・高等部	令和5年10月27日(金)～29日(日)	
	佐伯 太郎	宮崎県立 高千穂高等学校	剣道競技	学校法人田中学園 水戸葵陵高等学校	令和5年11月22日(水)～23日(木)	
				茨城県立守谷高等学校	令和5年11月24日(金)～25日(土)	
	上原 将平	宮崎県立 小林高等学校	陸上競技(駅伝)	山口県立西京高等学校	令和5年9月18日(月)～20日(水)	
	永田 峻	宮崎県立 本庄高等学校	フェンシング競技	愛知工業大学名電高等学校	令和5年12月27日(水)～29日(金)	
	岩切 晋作	宮崎第一 中学高等学校	陸上競技	筑波大学	令和5年9月4日(月)～7日(木)	
	加藤 順也	宮崎県立 延岡星雲高等学校	相撲競技	日本体育大学荏原高等学校	令和5年9月15日(金)～18日(月)	

(2) みやぎ広域スポーツセンター事業

① 生涯スポーツ指導者養成研修

No.	講座名	期 日	会 場	対 象	人数	内 容	講 師
1	総合型地域スポーツクラブ マネジメントセミナー	9月16日(土) 9月17日(日)	ひなた武道館	地域スポーツクラブ等スポーツ団体関係者、公認アシスタントマネージャー単位取得を希望される方	14	講義1 地域スポーツクラブとは 地域スポーツクラブの現状 講義2 クラブマネージャーの役割 講義3 クラブのつくり方Ⅰ 講義4 クラブのつくり方Ⅱ 講義5 クラブの運営Ⅰ 講義6 クラブの運営Ⅱ	祐末 ひとみ 講師 (びわこ学院大学) 渡邊 優子 理事長 (NPO法人希楽々) 山田 健次 ゼネラルマネージャー 西田 由実 事務局長 (NPO法人A-lifeなんかん)

② 総合型地域スポーツクラブ育成促進事業

No.	項 目	主 な 内 容
1	総合型地域スポーツクラブ育成に関する研修会・講習会の開催	地域スポーツ推進研修会 令和5年10月19日(木) ひなた武道館大会議室 講演「行政、学校、各スポーツ関係団体等が連携した 地域スポーツ推進の在り方について」 講師 長崎県西彼杵郡長与町教育委員会 金崎 良一 教育長 参加者 47名
2	総合型地域スポーツクラブへの支援	総合型クラブ訪問・相談・支援 クラブ連絡会議の開催 5/19 クラブ29名、市町村23名 ※ハイブリッド 2/1 クラブ25名、市町村18名 ※ハイブリッド
3	総合型地域スポーツクラブについての普及・啓発	市町村訪問・相談・支援 情報ネットワークの構築 (HP) 啓発用リーフレットの配付
4	総合型地域スポーツクラブに関する情報収集・提供	片内報告会 5/2、6/1、7/5、8/3、10/5、11/2、12/7、1/11、2/8 総合型クラブ関係三者会議の開催 4/6、8/30、2/22 先進クラブ等視察 10/24 茨城県つくば市 認定NPO法人日本スポーツアカデミー 10/25 神奈川県川崎市 特定非営利活動法人高津総合型スポーツクラブSELF 各クラブの活動状況等把握

(3) 宮崎県公立武道館協議会事業の支援

No.	事業名	期 日	会 場	対 象	人数	内 容	講 師
1	地方青少年少林寺拳法錬成大会	8月26日(土) ~27日(日)	[宮崎市] ひなた武道館	小・中・高校生	107	講義・実技 等	永安 正樹氏 伊藤 修平氏 本間 慎太郎氏 (一財)少林寺拳法連盟 小玉 将臣氏 立山 慎氏 宮崎県少林寺拳法連盟
	地方青少年空手道錬成大会	12月23日(土) ~24日(日)	[宮崎市] ひなた武道館	小・中・高校生	89	講義・実技 等	佐藤 重徳氏 相原 智之氏 加藤 英夫氏 (公財)全日本空手道連盟 藤枝 孝明氏 佐藤 伊織氏 (一社)宮崎県空手道連盟
2	地域社会弓道指導者研修会	10月21日(土) ~22日(日)	[都城市] 早水公園体育文化センター	地域の弓道指導者	30	講義・実技 等	増淵 敦人氏 田中 邦子氏 (公財)全日本弓道連盟 當房 孝之氏 岩切 久実氏 宮崎県弓道連盟

(4) その他

① 調査研究

No.	事業名	主な内容
1	体育、スポーツに関する調査研究	本県スポーツ・体育関係者の研修ニーズ調査及び総合型地域スポーツクラブに係る調査
2	武道振興に関する調査研究	各武道団体からの情報収集等による活動状況等把握

② 情報提供

No.	提供方法	時期	主な内容
1	要覧等 (宮崎の教育、宮崎の体育・スポーツ、研修センター等)		スポーツ指導センターの本年度事業一覧、年間事業計画、前年度の県有体育施設利用状況、事業実績等の紹介
2	研修一覧	3月下旬発行	スポーツ指導センターが行う研修の紹介
3	ホームページ	随時、更新	スポーツ指導センターの事業概要、講座・事業一覧、年間事業計画、みやざき広域スポーツセンターに関する情報、児童生徒の体力・運動能力調査結果等

③ 総合運動公園有料公園施設、新県体育館、県体育館、ライフル射撃競技場等の管理

No.	主な内容
1	指定管理者（関係機関）との連絡調整に関すること。
2	使用料収入、還付及び減免に関すること。
3	総合運動公園占用許可及び公園内行為許可に関すること。
4	教育財産の維持管理に関すること。

(1) 県体育館

① 設置

② 施設等

延面積 7.663.89m²

本館競技場	1,700.36 m ²
-------	-------------------------

別館第1競技場	621.49m ²
---------	----------------------

別館第2・3競技場 438.40m²

・別館第1 バレーボール1面、バスケットボール1面、バドミントン3面、卓球4面、体操、フェンシング、剣道

・別館第2・3 柔道 | 面、剣道 | 面 (多目的)

觀客收容人數 2,345席（固定席1,745席、移動席600席）

約140台 (館周邊駐車場約140台)

◎ 特别状况

— 反別有用狀加

5年度

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

④ 無制限放子木

5年度

		75	54	55
--	--	----	----	----

① 設置

昭和53年

施設等

(ア) 設置場

エアーライフル射場 10m (26的)、スモールボアライフル射場 50m (26的)

© 1999 1999 1999

1. 函数 $f(x)$ 在 x_0 处可导，则 $f(x)$ 在 x_0 处连续。

5 年度

--	--	--	--	--

(3) 武道館

① 設 置

平成8年12月に建設工事が着工され、平成10年11月に開館の運びとなった。本県における武道の普及・振興のため、“ひむかの国の建武の郷(けんぶのさと)”として位置づけ、和風建築を基調とした切り妻型の屋根で宮崎の山々をイメージして構成され、国際大会にも対応できる機能を備えている。

② 施 設 等

(ア) 設置場所 宮崎市大字熊野2206-1

(イ) 施設内容 ・主 道 場 柔道・剣道・空手道等6面(固定席1,534席・車椅子席10席)
・柔 道 場 4面(150席)
・副 道 場 空手道/合気道/なぎなた/少林寺拳法等2面(108席)
・剣 道 場 2面(108席)
・弓 道 場 近的:12人立(98席)、遠的:6人立
・相 撲 場 競技用土俵1面、練習用土俵1面(76席)
・トレーニング場 筋力マシン、トレッドミル、エアロバイク等
・会 議 室 大会議室1(200名収容)、中会議室2(30名収容)、小会議室1(20名収容)

③ 利用状況

年 度 別 利 用 状 況

(単位:人)

施設名	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
主 道 場		49,834	80,273	111,206
柔 道 場		18,787	23,993	25,193
剣 道 場		10,438	12,788	15,558
副 道 場		11,787	16,118	18,822
相 撲 場		838	712	964
弓道場(近的)		12,078	20,709	26,311
弓道場(遠的)		5,332	7,375	7,171
トレーニング場		15,586	16,480	18,589
会 議 室		18,454	18,889	23,774
計		143,134	197,337	247,588

④ 無料開放事業

(単位:人)

区 別	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
こどもの日	柔道場	0	86	4
	弓道場	0	2	0
	相撲場	0	2	0
スポーツの日	柔道場	6	0	21
	弓道場	1	0	13
	相撲場	0	0	11

(4) 硬式野球場(サンマリスタジアム宮崎)

① 設 置

平成11年3月建設工事が着工され、平成13年2月に開場となった。平成11年に愛称を一般公募し「サンマリスタジアム」が選ばれる。愛称に因んでスタンドの配色も「太陽の赤」「海の青」「空の青」を基調としている。内外野とも天然芝張で、プロ野球の公式戦も開催できる規模と設備を有し、令和5年2月には侍ジャパン宮崎キャンプも開催された。

② 設 備 等

(ア) 設置場所 宮崎市大字熊野1443-12

(イ) 施設内容 ・球 場 面 積 30,232㎡
・建 築 面 積 15,900㎡
・グラウンド面積 14,332㎡
・構 造 鉄筋コンクリート造4階建
・球 場 の 形 式 円形バルコニー席タイプ
・観客収容人数 30,000人(内野18,000人/外野12,000人)
・球 場 の 規 格 両翼100m 中堅122m 内外野ともに天然芝張
・そ の 他 ナイター照明灯6基 スコアボード電光表示

③ 利用状況

年度別利用状況

(単位：人)

施設名	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
グラウンド		64,792	371,715	235,373
大会議室		2,145	3,700	4,098
中会議室		280	930	630
ミーティング室		3,750	7,620	5,945
監督室		116	160	165
コーチ室		472	702	644
計		71,555	384,827	246,855

(5) 屋内運動場（木の花ドーム）

① 設置

平成14年12月建設工事が着工され、平成16年4月に開場となった。愛称を一般公募し、立地場所である木花の地区名や日向神話のコノハナサクヤヒメをイメージさせ、県産杉材を利用した木造ドームであること等から「木の花ドーム」が選ばれる。天然芝に近い感触をもつ人工芝を採用し、スポーツだけでなくイベント等多目的に利用できる施設となっている。

② 設備等

(ア) 設置場所 宮崎市大字熊野1443-12

(イ) 施設内容

- ・延床面積 11,463㎡
- ・建築面積 10,966㎡
- ・アリーナ面積 8,886㎡
- ・規格 楕円形122m×102.5m 高さ38m
- ・構造 木造（下部鉄筋コンクリート造）平屋建
- ・観客収容人数 800人（アリーナ約5,000人）
- ・その他 人工芝 照明灯 会議室 スコアボード電光表示

③ 利用状況

年度別利用状況

(単位：人)

施設名	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
ドーム		26,967	41,424	43,951
会議室		1,344	855	513
計		28,311	42,279	44,464

④ 無料開放事業

(単位：人)

区別	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
こどもの日		0	12	2

(6) 宮崎県総合運動公園

① 設置

置県80周年記念事業のひとつとして、昭和38年の基本構想発表から昭和56年3月の完工まで17種23競技のできる全国でも有数の運動公園として完成した。自然環境も生かされており、「緑の中のスポーツ公園」として本県スポーツ・レクリエーションの場として広く県民に親しまれ、活用されている。

② 設置等

(ア) 設置場所 宮崎市大字熊野1443-12

(イ) 施設内容

- 敷地面積 1,540,000㎡（内松林面積520,000㎡）
- ・陸上競技場 第1種公認400m×8コース
- ・第2陸上競技場 300m×6コース
- ・水泳場 50m、25m、室内、幼児プール
- ・第3競技場（サッカー場）第3種公認400m×8コース（21,000㎡）
- ・ラグビー場 13,175㎡ 155m×85m
- ・補助球技場 10,000㎡ 120m×84m（人工芝）
- ・自転車競技場 400m×6車連
- ・ゲートボール場 25m×20m 4面
- ・軟式野球場A 両翼99m、中堅122m

- ・軟式野球場 B 両翼92m、中堅100m
- ・運動広場 東西2面 145m×100m
- ・庭球場 砂入人工芝コート 24面(内、12面照明有:平成18年4月1日設置)
- ・第2硬式野球場 両翼92m、中堅122m(旧市営球場、平成16年4月1日県へ譲渡)
- ・体育館 床面積1,049㎡
- ・トレーニング場(ウエイトトレーニング) 床面積220㎡
- ・第2トレーニング場(ウエイトトレーニング) 床面積168㎡
- ・合宿所 収容人員 88名
- ・屋内練習場 45m×65.8m
- ・屋内走路 110m(100m兼用)×5コース 幅跳び・三段跳び1コース砂場
- ・駐車可能台数 約3,500台

③ 利用状況

年度別利用状況

(単位:人)

施設名	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
陸上競技場		75,548	101,283	37,820
第2陸上競技場		14,666	20,102	21,815
水泳場		27,490	24,933	28,520
第3競技場 (サッカー場)		24,922	39,195	19,565
ラグビー場		17,631	24,874	20,222
補助球技場		22,022	31,744	16,463
自転車競技場		6,166	6,242	—
第2トレーニング場		2,039	4,239	2,021
ゲートボール場		0	4	0
軟式野球場 A		3,320	2,588	17,590
軟式野球場 B		4,247	13,143	13,933
運動広場 A B		28,172	44,736	46,083
運動広場 C D		22,813	43,082	45,784
庭球場		74,878	90,053	98,600
第2硬式野球場		12,442	53,179	6,609
体育館		7,542	9,667	9,419
トレーニング場		3,155	1,805	3,087
屋内練習場		4,417	10,190	8,111
合宿所		3,660	4,210	3,500
屋内走路		—	—	788
計		355,130	525,269	399,930

④ 無料開放事業

(単位：人)

区分	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
こどもの日	運動広場	0	146	100
	室内プール	0	19	24
	庭球場	0	19	68
スポーツの日	運動広場	0	5	0
	室内プール	10	0	4
	庭球場	7	75	6

(7) 新県体育館（アスリートタウン延岡アリーナ）

① 設置

令和9年に開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けて、令和3年9月建設工事が着工され、令和5年8月にサブアリーナが開場した。「スポーツランドみやざき」の新たな競技力向上の中核施設としての役割を担うとともに県民の体位・体力の維持・増進を図り、体育及びスポーツの普及振興に努めている。令和7年12月にはメインアリーナが完成予定である。

② 施設等

(ア) 設置場所 延岡市大貫町1丁目2894

(イ) 施設内容 敷地面積 39,593㎡
 建築面積 11,498.14㎡
 延面積 12,998.20㎡
 構造 鉄筋コンクリート造 2階建 一部鉄骨造、木造
 競技場 サブアリーナ 1,530㎡ (45m×34m)
 多目的室 463.45㎡ (29.9m×15.5m)

競技場設備 ・サブアリーナ バスケットボール2面、6人制バレーボール3面、ハンドボール/フットサル1面、バドミントン/ミニバレーボール6面、テニス/ソフトテニス6面、卓球12面、柔道6面、その他武道/ダンス等
 ・多目的室 卓球 武道各種

観客収容人数・サブアリーナ 504席（固定席500席、車椅子席4席）

駐車可能台数 約800台（メインアリーナ竣工時）

③ 利用状況

年度別利用状況

(単位：人)

施設名	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
メインアリーナ		—	—	—
サブアリーナ		—	—	48,805
多目的室		—	—	6,613
トレーニングルーム		—	—	—
会議室 1		—	—	863
会議室 2		—	—	1,287
会議室 3		—	—	—
会議室 4		—	—	—
会議室 5		—	—	—
応接室		—	—	—
計		—	—	57,568

④ 無料開放事業

(単位：人)

区分	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
こどもの日		卓球・バドミントン等	卓球・バドミントン等	卓球・バドミントン等
スポーツの日		卓球・バドミントン等	卓球・バドミントン等	卓球・バドミントン等

第8節 青少年教育施設

I 青少年自然の家

(1) 青島青少年自然の家

ア 設 置

青島青少年自然の家は、明治百年記念事業の一つとして設置され、昭和50年9月に開所した社会教育施設である。平成18年度より指定管理者制度を導入している。

この施設は、次の教育目標を達成し、自主性に満ちた心豊かでたくましく生きる力を備えた青少年を育成するため、学校や家庭では得がたい自然体験や集団宿泊生活の機会を与える。

- ・ 自然の恩恵にふれ、自然に親しむ心や畏敬の念を育てる。
- ・ 集団宿泊生活を通じて、規律・協同・友愛・奉仕の精神を育てる。
- ・ 野外活動を通じて、心身を鍛錬する。

イ 施設の概要

- 設置場所 宮崎市大字熊野字藤兵衛中州 (TEL 0985-58-1711)

- 位置・環境

J R 日南線運動公園駅から徒歩約10分、宮崎交通バス青島線運動公園南口から徒歩約10分。

第34回国民体育大会の主会場となった宮崎県総合運動公園の一画に位置し、東は黒潮おどる日向灘と亜熱帯植物が茂る青島を望み、背後には斟鉢山、双石山、加江田溪谷をひかえ、四季温和な気候と自然に恵まれた所である。

また、付近には多目的に活用できる全天候型運動施設「木の花ドーム」や海岸沿いに青島まで続く「トロピカルロード」がある。

- 施設の概要

- ・ 敷地面積 53,843 m²
- ・ 延床面積 6,671 m² (本館、総合研修館、キャンプ施設)
- ・ 屋外施設 つどいの広場 キャンプ場 キャンプファイヤー場 掲揚台 野外炊飯場
フィールドアスレチック
- ・ 収容人数 宿泊室 304人
キャンプ場 150人

- 活動内容

自 然 観 察 活 動	—— 星空観察、グリーンウォッチング、自然観察「青島探検」、 ナイトウォーク、ビーチコーミング、日の出見学、磯の観察、干潟の観察、 浜辺の植物観察、バードウォッチング
-------------	---

アウトドアスポーツ	—— ボディーボード体験、サーフィン体験、カヌー体験、水泳・海水浴、 しおかぜ追跡ハイキング、フィールドアスレチック、ハイキング、登山、 オリエンテーリング、ウォークラリー、サイクリング、 フォトアドベンチャー、グランドゴルフ、魚釣り体験など
-----------	--

職 業 体 験 活 動	—— ビジネスマナー研修
-------------	--------------

創 作 体 験 活 動	—— 砂の造形、さるいて創ろう活動、プラホビー、草花しおり、砂絵、 流木フォトフレーム作り、塩づくり、貝がらペンダントなど
-------------	--

その他の諸体験活動	—— キャンプファイヤー、古代火おこし体験、親子の触れ合い・遊び体験、 史跡巡りなど
-----------	---

ウ 主な令和5年度主催事業実績

事業名	目的	期 日	対 象	参加者
アスレチック開放DAY	フィールドアスレチック活動を通して、たくましい体と心を育てる。	5月14日(日) 9月24日(日)	未就学児、小学生、 中学生、保護者	231名 198名
ちびっこアスレチック	フィールドアスレチック活動を通して、家族の交流を図る。	5月14日(日) 9月24日(日)	未就学児、小学生、 中学生、保護者、ボランティア	202名 246名
食育鮮隊ウメモンジャー	宮崎の「食」と「農」について体験的に学ぶ活動を通して、食べ物を大事にする心を育てる。	4月30日(日) 7月8日(土)～ 7月9日(日) 9月10日(日) 11月18日(土)～ 11月19日(日)	小学生、ボランティア	17名 20名 18名 24名
あおしまマリン	海辺の活動や川辺の活動を通して、親子で自然への興味関心を高めるとともに、参加者同士の交流を図る。	6月17日(土)	未就学児、小学生、 保護者	32名
まなBOSAI	家族で様々な防災体験活動を行い、家族の防災意識を高めるとともに、家族内、家族間の交流を図る。	11月3日(金)	未就学児、小学生、 中学生、高校生、保護者、ボランティア、協力団体ほか	208名
げんキッズキャンプ	野外体験活動を通して、豊かな情操やたくましい体を育むとともに、参加者同士の交流を図る。	1月20日(土)～ 1月21日(日)	小学生、ボランティア	53名
わくわく自然の家まつり	施設を県民に広く理解してもらうために「まつり」を開催し、来所者に野外活動や創作活動などの多彩な体験活動を提供する。	2月23日(金)	未就学児、小学生、 中学生、高校生、保護者ほか	2,581名

エ 利用状況

○ 利用状況（令和5年度）

項目 利用団体区分	利用団体数	利用実人員	宿泊延人員	利用延人員
保育園、幼稚園	33	2,632	66	2,699
小学校	157	8,982	7,285	16,321
中学校	14	787	538	1,328
高校	57	1,793	1,571	3,412
高等専門学校	0	0	0	0
専門学校	10	1,041	377	1,426
短大、大学	2	183	15	204
その他の学校	3	70	0	70
少年団体	201	10,128	3,715	14,920
青年団体	11	377	1,119	1,533
その他	63	5,700	417	6,172
合計	551	31,693	15,103	48,085

○ 年度別利用状況

項目 年度	利用団体数	利用実人員	宿泊延人員	利用延人員
平成17年度	461	27,858	28,306	54,447
18	707	37,364	31,943	70,701
19	774	43,927	34,982	81,156
20	830	46,316	34,051	83,442
21	822	45,044	33,855	80,954
22	887	45,230	28,361	74,821
23	691	42,087	33,260	76,886
24	618	42,252	34,194	77,197
25	566	34,832	28,951	64,999
26	576	35,342	25,283	61,209
27	541	33,104	27,805	61,451
28	511	35,885	26,384	62,423
29	566	36,616	26,593	64,064
30	559	43,051	24,151	68,156
令和元年度	549	40,011	22,237	63,142
2	425	20,035	5,014	24,961
3	310	17,279	7,463	24,787
4	496	25,868	11,498	38,064
5	551	31,693	15,103	48,085

(2) むかばき青少年自然の家

ア 設 置

むかばき青少年自然の家は、青少年を自然に親しませ、集団宿泊生活を通じて、その情操や社会性を豊かにし、心身を鍛錬し、もって健全なる育成を図ることを目的とする社会教育施設である。

昭和 57 年 3 月本館建設に着工して 58 年 3 月に完工し、同年 4 月に開所した。また、59 年 3 月には野外教育施設が完工し、平成 9 年 3 月に天体観測ドームが完工した。平成 18 年度より指定管理者制度を導入している。

この施設は、次の教育目標を達成し、自主性に満ちた心豊かでたくましく生きる力を備えた青少年を育成するため、学校や家庭では得がたい自然体験や集団宿泊生活の機会を与える。

- ・ 自然の恩恵にふれ、自然に親しむ心や畏敬の念を育てる。
- ・ 集団宿泊生活を通じて、規律・協同・友愛・奉仕の精神を育てる。
- ・ 野外活動を通じて、心身を鍛錬する。

イ 施設の概要

○ 設置場所 延岡市行藤町 760 番地 3 (TEL 0982-38-0272)

○ 位置・環境

延岡市の西部に位置し、市中心部から約 13 km の自然林の中にある。

周辺には海拔 831 m の行藤山（雄岳）・落差 76.6 m の行藤の滝・74ha の明治百年記念県民の森・行藤神社・舞野神社などの史跡・名勝があり、九州自然歩道むかばきコースなど環境に恵まれている。

○ 施設の概要

- ・ 敷地面積 20,379 m²
- ・ 延床面積 4,196 m²（本館、野外炊飯場、キャンプ倉庫、キャンプトイレ）
- ・ 屋外施設 キャンプ場、営火場、運動広場、つどいの広場
- ・ 収容人数 宿泊室 200 人
キャンプ場 125 人
- ・ 天体観測ドーム 直径 5 m ドーム内に口径 400 mm カセグレン式反射望遠鏡設置

○ 活動内容

自 然 観 察 活 動	—— 星空観察（天体観察）、野鳥観察、植物・樹木観察、昆虫観察、自然散策
-------------	--------------------------------------

アウトドアスポーツ	—— 行藤山登山・滝トレッキング・展望台ハイキング、沢登り(沢歩き)、沢遊び、オリエンテーリング、追跡ハイキング、ウォークラリー、イニシアティブゲーム、マス釣り・マスつかみ・マス調理
-----------	---

防 災	—— ダンボールハウス作り、空き缶炊飯、煙体験ハウス、水消火器
-----	---------------------------------

創 作 体 験 活 動	—— 木のペンダント、プラホビー、木のペナント、紙粘土と木のクラフト、マイ箸作り、木の実細工、杉焼き板細工、陶芸体験（むかばき焼き）
-------------	--

その他の諸体験活動	—— キャンプファイヤー、キャンドルのつどい、レクリエーションゲーム、館内フォトアドベンチャー、館内ミニ探検ゲーム、AED研修、子育て体験、野外炊飯（炊さん）など
-----------	---

ウ 主な令和5年度主催事業実績

事業名	目的	期 日	対 象	参加者
チャレンジ山楽隊	登山を通して人と人との交流や家族の絆を深めるとともに、むかばきの自然と新緑の美しさ・素晴らしさを堪能し、自然に対する興味・関心を持ってもらう。	4月9日（日） 1月14日（日）	未就学児、小学生、 中学生、保護者	34名 53名
すまいる家族大集合	大自然の中での野外活動を通して、家族の絆を深めるとともに、家族同士の交流を目的とする。	4月22日（土） 4月23日（日） 9月23日（土） 9月24日（日） 3月9日（土）～ 3月10日（日）	未就学児、小学生、 中学生、保護者	38名 30名 35名 40名 38名
むかばきオープンデー	施設を開放することにより、地元住民を始め、多くの方々に自然の家を理解してもらい、地域の活性化に寄与する。また、家族で「春のむかばき」を楽しみながら、自然の家及び周辺環境への関心を深めてもらう。	5月4日（木）	全年齢対象	742名
わいわい楽しい昼食会	生涯にわたって健康で豊かな人間性を育むため、食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することのできる人間を育成する。	6月 14日間 7月 5日間 1月 8日間 2月 4日間	未就学児、引率者	605名 255名 309名 115名
むかばきひとり旅	小学生・中学生が家庭を離れ、列車やバスを利用してむかばき青少年自然の家までひとり旅をすることにより、自立心を身につけるとともに、集団生活や冒険的な活動を通して、たくましい心と体を育てる。	7月15日（土） ～7月17日（月） 9月9日（土） ～9月10日（日）	小学生、中学生、 ボランティア	61名 49名
むかばき青少年自然の家まつり	施設を開放することにより、地元住民を始め、多くの方々に自然の家を理解してもらい、地域の活性化に寄与する。また、家族で「秋のむかばき」を楽しみながら、自然の家及び周辺環境への関心を深めてもらう。	11月5日（日）	全年齢対象	767名
ハンドメイド塾	「手作り」を通して、作る喜びを味わう。	12月17日（日） 1月21日（日）	未就学児、小学生、 中学生、高校生、 一般	90名 41名

エ 利用状況

○ 利用状況（令和5年度）

項目 利用団体区分	利用団体数	利用実人員	宿泊延人員	利用延人員
保育園、幼稚園	114	2,938	325	3,276
小学校	53	2,736	2,280	5,036
中学校	19	840	889	1,735
高校	70	1,772	2,421	4,210
高等専門学校	0	0	0	0
専門学校	0	0	0	0
短大、大学	3	113	132	247
その他の学校	0	0	0	0
少年団体	89	3,109	1,264	4,436
青年団体	4	131	112	252
その他	113	5,272	386	5,664
合計	465	16,911	7,809	24,856

○ 年度別利用状況

項目 年度	利用団体数	利用実人員	宿泊延人員	利用延人員
平成17年度	250	12,890	14,248	27,362
18	386	15,147	15,871	31,210
19	592	17,850	17,667	36,138
20	567	21,093	17,987	39,213
21	538	19,786	16,543	36,523
22	448	17,262	14,703	32,077
23	443	19,539	16,401	36,119
24	455	20,310	16,090	36,536
25	495	21,592	16,237	37,989
26	482	20,222	14,281	34,709
27	532	21,854	14,015	36,121
28	515	21,463	13,698	35,394
29	527	20,665	12,760	33,573
30	542	21,490	14,752	36,690
令和元年度	472	18,778	12,686	31,601
2	271	8,379	2,603	11,020
3	244	9,094	3,497	12,644
4	322	11,524	4,419	15,976
5	465	16,911	7,809	24,856

(3) 御池青少年自然の家

ア 設 置

御池青少年自然の家は、青少年を自然に親しませ、自然の中での集団宿泊生活を通じて、豊かな情操や社会性を育むとともに、心身を鍛練し、もって健全な育成を図ることを目的とする社会教育施設として、平成3年10月に開所した。平成18年度より指定管理者制度を導入している。

この施設は、次の教育目標を達成し、自主性に満ちた心豊かでたくましく生きる力を備えた青少年を育成するため、学校や家庭では得がたい自然体験や集団宿泊生活の機会を与える。

- ・ 自然の恩恵にふれ、自然に親しむ心や畏敬の念を育てる。
- ・ 集団宿泊生活を通じて、規律・協同・友愛・奉仕の精神を育てる。
- ・ 野外活動を通じて、心身を鍛練する。

イ 施設の概要

○ 設置場所 都城市夏尾町 5988-30 (TEL 0986-33-1414)

○ 位置・環境

都城市の西部、市中心部から約25km離れた霧島錦江湾国立公園内に位置している。

西に高千穂峰(1,574m)を仰ぎ、北東には牧草が広がるなど、山間部にありながら空間的な広がりを持っているので十分な開放感を与える。

なお、施設の名称にもなっている御池は、施設の西にある周囲4km、水深103mの霧島山系中最大の火口湖であり、湖の西岸は全国でも4ヶ所という野鳥の森に指定(環境省指定)されている。この雄大な自然を利用した高千穂峰登山・御池野鳥の森ハイキング・天体観察などの魅力的な活動が展開される。

○ 施設の概要

- ・ 敷地面積 43,163 m²
- ・ 延床面積 4,210 m² (本館、体育館、キャンプ施設)
- ・ 屋外施設 キャンプ場、営火場、運動広場、つどいの広場
- ・ 収容人数 宿泊室 200人
キャンプ場 246人

○ 活動内容

自然観察活動	霧島山登山、御池ハイキング、御池野鳥の森ハイキング、ナイトハイキング、追跡ハイキング、霧島ジオハイキング、ウォークラリー、オリエンテーリング、ハンターゲーム、魚釣り、バードウォッチング、ネイチャーゲーム、グリーンアドベンチャー、天体観察、狭野神社ウォークラリーなど
--------	--

アウトドアスポーツ	スポーツレクリエーション(ムーンカート、フリスビー・ドッチボール・グランドゴルフ)、フォトアドベンチャー、沢遊びなど
-----------	--

防 災	防災カルタ、消火器体験、煙体験、KYT(危険予知トレーニング)、応急救護、手作りランプ、防災マップ作成、ロープワークなど
-----	--

創作体験活動	木ホルダー、記念盾、焼き板、写真立て、竹細工(竹トンボ、はし、竹ケン玉)、プラホビー、木の実細工、落ち葉のしおり、陶芸、レザークラフトなど
--------	---

その他の諸体験活動	スケッチ・写真、火おこし体験、茶道、野外炊飯、天体アドベンチャー、屋内活動(追跡ハイキング、フォトアドベンチャー)、キャンプファイヤー、キャンドルファイヤーなど
-----------	--

ウ 主な令和5年度主催事業実績

事業名	目的	期 日	対 象	参加者
森のチビッコひろば	自然の中での遊びを通して、幼児の体や心を育てるとともに、協調心や創造力を培う。	6月 6日間 9月 9日間 10月 13日間 11月 7日間 12月 4日間 1月 6日間 2月 3日間	未就学児	144名 158名 287名 136名 98名 212名 65名
防災学びんぐスクール	霧島山の噴火をはじめとする自然災害に対して、地域の特色を生かし、地域と連動した学校防災の取組を支援する。また、この取組を通して児童生徒の防災に対する実践的な態度や自然に対する畏敬の念及び自然に親しむ態度の育成に寄与する。	10月 1日間 11月 2日間 12月 2日間 1月 2日間	小学生、中学生	22名 378名 84名 117名
チャレンジ「ぼうさい」～もくもくもっくんハウス	災害への備えと災害時に必要な知識と技能などについて、体験活動を通じて学び、防災に対する実践的な態度を身につける。	5月 1日間 6月 3日間 7月 3日間 8月 1日間 9月 5日間 10月 4日間 11月 3日間 1月 4日間 2月 1日間 3月 2日間	未就学児、小学生、引率者	70名 274名 248名 59名 221名 318名 239名 403名 115名 140名
みいけ焼き	土の特性を生かした陶芸作品づくりに取り組むことによって、物作りの楽しさや喜びを味わう中で豊かな情操を育む。	6月10日（土） 7月8日（土） 1月20日（土） 2月17日（土）	未就学児、小学生、保護者	48名 43名 29名 26名
みいけに泊まろう！ 通学合宿	家庭を離れ、テレビやゲーム、パソコンの無い集団宿泊生活を送りながら通学する体験を通して、望ましい生活習慣や学習習慣を身につけ、自立心と共に連帯感や協調性を育てる。	7月2日（日）～ 7月7日（金） 9月10日（日）～ 9月15日（金） 11月26日（日）～ 11月29日（水） 12月10日（日）～ 12月14日（木）	小学生、保護者	13名 42名 39名 42名
みいけオープンデー 「やまびこ祭」	自然の家で行う創作活動等を実際に体験する機会や、地域の郷土芸能を鑑賞する機会等を祭りとして提供することにより、広く県民に施設の理解を図る。	10月15日（日）	全年齢対象	625名

エ 利用状況

○ 利用状況（令和5年度）

項目 利用団体区分	利用団体数	利用実人員	宿泊延人員	利用延人員
保育園、幼稚園	24	550	365	918
小学校	38	1,605	1,087	2,701
中学校	15	702	593	1,300
高校	25	386	451	872
高等専門学校	0	0	0	0
専門学校	2	73	107	181
短大、大学	0	0	0	0
その他の学校	0	0	0	0
少年団体	71	2,803	1,323	3,347
青年団体	13	273	35	308
その他	131	6,599	806	7,603
合計	319	12,271	4,767	17,230

○ 年度別利用状況

項目 年度	利用団体数	利用実人員	宿泊延人員	利用延人員
平成17年度	278	18,202	21,400	40,164
18	360	23,258	19,050	42,642
19	368	24,444	18,854	44,306
20	402	26,750	18,200	46,034
21	351	25,828	15,287	42,294
22	261	18,860	12,264	31,248
23	13	425	56	483
24	223	17,092	4,338	21,985
25	353	24,433	9,567	34,973
26	335	24,948	11,222	36,698
27	374	26,061	11,109	37,434
28	375	24,958	10,336	35,247
29	335	23,101	8,243	31,460
30	362	27,515	7,504	35,161
令和元年度	390	25,451	9,175	34,689
2	177	8,439	2,431	10,892
3	171	6,944	3,100	10,075
4	231	9,645	3,391	13,350
5	319	12,271	4,767	17,230